

☆恒例、PA 主催のドッジボール大会、大成功のうちに幕を閉じました！☆

先日の土曜日の放課後、いつもは静かな体育館が、子どもたちの熱気と期待で満たされていました。今年も PA 主催の恒例行事「ドッジボール大会」が開催され、学年の垣根を越えて集まった 140 名以上の子どもたちの笑顔と汗が輝く、素晴らしい一日となりました。

試合開始のホイッスルが鳴り響いた瞬間、体育館の空気は一変！一斉にボールに向かって駆け出す子どもたちの真剣な眼差し、ボールが飛び交う音、そして仲間を応援する大きな声援が、体育館全体を包み込みます。低学年のコートでは、自分の体と同じくらいに思えるボールを両手で力いっぱい投げる可愛い姿や、ボールをキャッチするたびにチーム全員で大喜びする様子に、見ている大人たちも思わず笑顔になりました。学年が上がるにつれて、試合はどんどん本格的に。中学年のコートでは、速いパスを繋いで相手を追い詰めるチームプレーが見られ、高学年・中学生の試合ともなると、まさに圧巻の一言。体育館の端から端までを貫くような剛速球や、体をしなやかに使ってボールを避ける姿に、あちこちから「おおー！」という歓声とどよめきが起こりました。

このイベントの魅力は、単なる勝ち負けだけではありません。普段の教室では見られない、子どもたちの新たな一面を発見できたことではないでしょうか。いつもはおとなしい子が、驚くほどの俊敏さでボールを避け続けたり、上級生が下級生に優しく声をかける場面があったり。学年を超えてチーム一丸となって喜び、励まし合う姿は、子どもたちの大きな成長を感じさせてくれる感動的な光景でした。

この素晴らしい一日を実現できたのは、お忙しい中、審判や誘導、そして子どもたちへの温かい声援で大会を支えてくださった保護者、ボランティアの皆様の温かいサポートがあったからこそです。心より御礼申し上げます。残念ながら今回ご参加いただけなかった皆様も、このレポートから少しでも当日の熱気を感じていただけたら幸いです。来年はぜひ、この感動を体育館で一緒に味わいましょう！

